

報告書抄録

ふりがな	さだていせき							
書名	里館遺跡							
副書名	宅地造成及び共同住宅建築に伴う埋蔵文化財緊急調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	室野秀文 鈴木俊輝							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 TEL019-635-6600							
発行機関	工藤善蔵 盛岡市教育委員会							
発行年月日	2014年4月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号	世界測地系				
さだていせき 里館遺跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 きたてんしょうじちよう 北天昌寺町 10-1・11-1 12-1・16-2・16-3	3201		39° 42' 42.2"	141° 7' 4.3"	2013.10.15 ～ 2013.12.26	2,209	宅地造成及び共同住宅建築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
里館遺跡 (第58次調査)	狩猟	縄文時代	陥し穴状土坑	1	縄文土器・石鏃		平安時代末期12世紀後半を主体とする城館の外郭施設と考えられる。中世後期の陶磁器も散見される。	
	城館	平安時代末 ～ 中世	掘立柱建物跡	10	ロクロかわらけ	中国青磁・白磁・染付		
			掘立柱列跡	18	手捏ねかわらけ			
			柵跡	1	瓷器系捏ね鉢			
			竪穴建物跡	1				
			土坑	7				
	溝跡	6						
集落	平安時代末～近世	柱穴						
	近世	土坑	1	近世陶磁器・寛永通寶				
		溝跡	2					
要約	雫石川北岸段丘上に位置する遺跡北西部の調査。調査区中央部の2条の溝の形状や溝内堆積土のありかたから、溝の間に土塁が存在した可能性が高く、これに取り付く櫓状建物跡や棧敷と推定される柱列跡に伴うほか、西端は溝が曲折して虎口を形成している。周辺には低地に沿った柱列跡、掘立柱建物跡、竪穴建物跡、柵跡が確認されたほか、調査区南側の段丘縁辺部には空堀が廻る曲輪が存在している。この曲輪との位置関係や出土土器の年代から、今回の遺構群は12世紀後半の城館外郭施設と考えられる。							